

こども会議通信

Vol.03

2019.1.29

お店づくりが、始まりました。

今日は約30人の子どもたちが集まりました！今回の会議では、お店づくりの一大イベント、お店の看板を制作しました。



どんなお店になるでしょう。

▼ 前回のふりかえり

今回も、まず全体で前回の振り返りをしました。こどものまちの「コンセプト」やまちにどんなお店をつくるのかを思い出しました。会議が3回目ということで緊張も解け、みんな堂々と発表していました。

▼ コミュニケーションゲーム

チームでの作業に移る前に、子どもたち同士が仲良くなれるゲームをしました。自分が好きなものと相手が好きなものを言い合って、一致したら1ポイントゲットできるゲーム。その名も「おんなじおんなじゲーム」。2人1組になって30秒間でどれだけポイント獲得できるか競い合いました。「アイスは好き？」「猫が好き？」「夏が好き？」等、たくさん質問が飛び交っていました。1回目は9点が最高得点でしたが、次第にみんな要領をつかんできて3回目には13点も取るチームがいるなど、とっても盛り上がりました。

▼ デザインワークショップ

続いて、子どもたちがそれぞれのお店看板を作るために、デザイン案を下書きしました。「どんな看板にするとお店に入ってもらいやすいか？」など相談しながら看板づくりを進めていきます。



看板のアイデアを相談しながら、下書きをします。

▼ 店舗の看板作成

下書きをもとに、助っ人に来てくれた大人と一緒に看板に色を塗りま



刷毛を持って、ペンキで看板を仕上げていきます。

した。ウインターショップのお店では、雪のイメージを作るためにハケで白色の絵の具を降りかけていました。ペンキで色を塗る時、文字を描く時など、あまり失敗できない場面でも大人と協力し、大胆に作業を進めることができました。

▼ 次回のこども会議について

第4回こども会議は、2月2日（土）に北区役所で開催します。まちの中での店の配置と、お店で販売する商品やサービスを考えます。

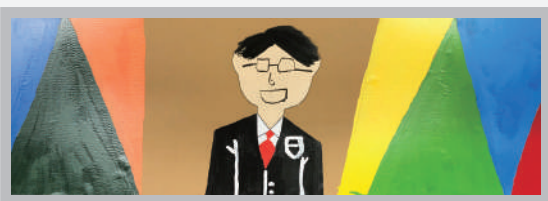
おみせの準備室

「看板づくり、はじめました。」

子どもたちが思い思いに考えて言葉を添えてみたり、お店の名前から連想できるものをイラストにしてみたりと、一生懸命作業に取り組む姿が印象的でした。ちなみに、子どもたちの最近の流行は虹のイラストで、たくさん看板に虹が描かれています。

Text 1 大谷大学 赤澤ゼミ みゆき

「区役所」



他の看板よりも目立つようにカラフルなデザインと、看板の真ん中には区役所という堅いイメージからスーツの男の人が描かれています。

カイギのカギ

「マスクのおとな」

店舗の看板づくりは、子どもたちだけで進めるのは大変な作業の1つ。そこで、今回は大人の力を借りてみることにしました。でも、こどものまちの主役は子ども。そこで、参加する大人に向けて、3つのルールを用意しました。



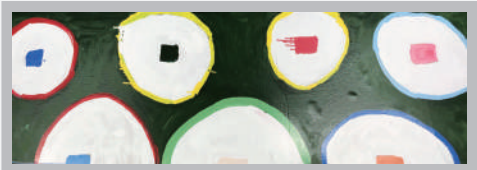
その1 「X」マークのマスクを着用すること！
大人は子どもに口出しできません。なので口にはXマークのマスクを。

その2 大人から話しかけないこと！
分からないことがあっても子どもには話しかけちゃダメ。子どもと話していい大人はサポートする大学生だけ。

その3 子どもの「指示書」どおりに色塗りをする！
大人は子どもの指示を守ること。勝手に解釈してはいけません。

最初は大人が子どもに口出ししてしまうかと心配でしたが、作りこまれた指示書から必死に色やデザインを読み取ったり、指示していた色が違っていると指摘を受けたり、大人の方がタジタジになる場面も…。

「税むしょ」



おにぎりのような白い円の中に四角があるイラストは、お金の五円玉をイメージして描かれています。

「警察」



男女の警察官のイラストや、「安心・安全・事故防止」のフレーズがひと目で警察の看板だとわかります。

「ときめき星占い」



“恋愛運”というキーワードからハートがメインで可愛いデザインで描かれています。

北 区 ニコニコ
北 っ 子
ど も
の ま ち

いよいよ、看板制作！

今日は、お店の看板作り。

まちに来てくれる子どもたちに、

自分のお店をわかってもらうため、まちを楽しんでもらうため、

一生懸命、デザインを考え、色を塗りました。

今年の看板は、一味違う個性派ぞろい！

どんなまちの風景になるのか楽しみです。

